

KIS 国際物流ニュース！ (2018年4月号)

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



食の輸出証明書ワンストップ化実証実験事業

成長戦略で掲げる農林水産物・食品の輸出拡大の後押しとして、輸出事業者の利便性向上を目指し、大阪商工会議所は「食の輸出証明書ワンストップ化実証実験事業」を2018年3月から2年間実施すること。これは食品などの輸出手続きに必要な「原産地証明書」「輸出証明書」を一つの窓口で受け取れるというものです。

一部の国・地域への食品等の輸出を行うには、農林水産省発給の「輸出証明書（産地や放射性物質検査の証明等）」が必要な場合があります。農林水産省の審査済み輸出証明書は、今後、大阪商工会議所の貿易証明窓口で、「原産地証明書」と併せて受け取りが可能となります。

食品輸出は鮮度が重要であり、輸出頻度を上げていくことが大切になります。この取り組みで手続きが簡便になり輸出事業者が少しでも輸出しやすくなることが実証結果で得られることを期待しています。

残業時間と幸福度・健康リスク

残業時間と幸福度・健康リスクの関係についての記事を読みました。

幸福度は残業時間の増加とともに低下するが、60時間を超えると上昇することです。しかし、60時間を超えると強いストレスを感じる割合が増え、健康被害や休職リスクが高まります。

残業の多い企業は「帰りにくい雰囲気」が組織特性としてあげられるとのこと。また全体の業務量は変わらず、企業として進める働き方改革＝残業削減対策の実施により、上司は効率を上げるため優秀な部下へ仕事を割り振る傾向が高くなり、その部下の残業限度を超えると、あふれた業務は上司が行うという循環が発生しているようです。

関西総合システムからのお知らせ

【藤原運輸株式会社様
輸出自動車管理システムの事例を公開】

「藤原運輸株式会社」様の輸出自動車管理システムの導入事例を公開しました。

煩雑な中古車輸出の書類管理業務、二重申告などの重大ミスの回避など、システム導入を機に改善。働き方改革にも大いにつながりました。

[HTTP://WWW.KISNET.CO.JP/CASE/FUJIWARAUNYU/](http://www.kisnet.co.jp/case/fujiwaraunyu/)